

静かに瞬く微笑み

俺の命だ

と思いきわることがある

人の世話になっても返って来るのは

病気の輪廻だけ、もう終わりにしたいと

ぼやきの姿勢が出る

捨て身になって

生き延びて良いのだよ

自分の細い命が身近な人を

支えていることだつてある

存在の仕方は

死を境に変わるかも知れない

例え命の写し絵であつても

胸に抱く人にとっては

微に入り細に入り細胞になつて行くもの

宝石のように輝く思い出は

多数の身内に生きて、引き継がれ

命を手渡しているのだ

ルビーの輝きは

例え一秒でも人の心を支える力になる

自分の命を

苦痛の中で

一瞬のルビーの微笑みに変えると考えよう

(再入院を愚図る恒ちゃんへ)